

5年算数「平行四辺形と三角形の面積」

第5時(9時間取り扱い)

どんな三角形の面積も
公式が使えることがわかる！

本時の授業の概要

前時において考えた三角形の面積の求め方をもとに、三角形の面積を求める公式を作る。三角形の面積を求めるためにはどこの長さが分かるといいのかを考え、公式にまとめ、三角形の面積の求め方の理解を深める。

本時の目標

三角形の面積を求める公式を考えることができる。

活用場面

課題発見

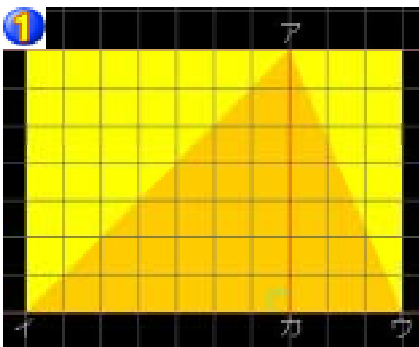
見通し

一般化

まとめ

習熟

三角形の面積を求める公式を確認する

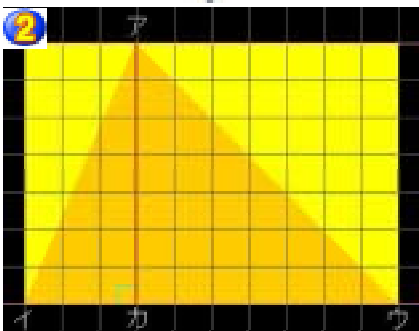


① T : 三角形の面積は、どんな公式で求めることができましたか。

C : 底辺 × 高さ ÷ 2

T : 頂点アはどこにあっても公式をつかって面積を求めることができるのでしょうか。

新しい三角形を提示し、別の三角形でも公式を使って面積を求められることに気づく。



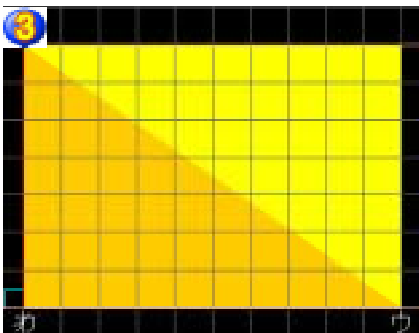
② T : この三角形でも公式を使って面積を求めることができますか。

C : とってもちがう三角形に見えるけれども・・・。

C : どんなに三角形も、2つ合わせると平行四辺形になるのだから、公式が使える。

C : 他の方法でも、公式が使えることが言える。

T : みんなで考えた公式はどんな三角形でも使えますね。



【ワンポイントアドバイス】

別の三角形を提示することにより、どんな三角形でも公式を使って求められることをおさえる。あわせて底辺と高さの位置関係の定着も図りたい。

高さが変わらなければ、頂点アがどこにあっても三角形の面積が変わらないことにも気づかせたい。

【サイト情報】

<http://www3.plala.or.jp/yat/santousekihenkei2/santousekihenkei2.htm>

(Javaで算数・数学)